

活動報告会

多くの皆様のご支援により、4年間、充実して仕事をさせていただきました。皆様への感謝を込めて、あらためて、4年間の活動をご報告させていただくとともに、更なる発展を目指して、熱い想いを語ります。

日時：2月17日（土） 19:00～20:30

場所：グリーンプラザ6階（府中駅北口徒歩1分）

ゲスト：

元自由党幹事長 元民主党幹事長
藤井裕久 前衆議院議員



民主党代表代行

菅 直人 衆議院議員

民主党「次の内閣（NC）」文部科学大臣

鈴木 寛 参議院議員

保育室準備あり

府中市議会議員・府中の元気

杉村康之

ご意見ご声援をよろしくお願いします！

事務所◆府中市栄町 2-14-21-101

TEL◆042-335-0097 / FAX◆042-361-9856

Email◆sugimura@sea.sannet.ne.jp

URL◆http://www.fuchu21.gn.to

郵便振替◆00150-1-102251(フリーダムネット)

銀行口座◆みずほ銀行府中支店 貯 4572242



府中一新、日本一新。

府中の元気

フリーダムネット

号外⑤・防災編

市内で新耐震基準を
満たしていない住宅は？

34,000戸

阪神・淡路大震災における死体検案データによると
(東京大学 目黒公郎教授 資料より)

- ・死亡場所では、86.6%が自宅
- ・死因では、83.9%が建物倒壊によるもの
- ・死亡推定時刻、96.3%が6時まで

(地震発生は5時46分)

つまり、

最大の凶器はマイホームだった

死因	割合(%)
窒息	53.9
圧死	12.4
外傷性ショック	2.2
頭部損傷	3.4
内臓損傷	1.5
頸部損傷	1.7
打撲・捻挫傷	8.2
焼死・火傷	12.2
不明	3.2
臓器不全	0.4
衰弱・凍死	0.2
その他	0.7

4年前の公約

必ず起こる大地震、 地域に備えを！

- ・各学校に防災井戸を
- ・「その時」の行動経路を周知徹底



■公約のねらい

食糧・飲料水を確保するとともに、避難計画が充分いかされるよう、避難訓練を通じて情報の周知徹底を図らなければならない。

■取りくみと課題

避難計画を住民に周知徹底するため、「実践的な」地域防災訓練が必要であると主張し、地域防災計画の検討課題となりました。さらに、自宅の倒壊による犠牲者を出さないよう、古い住宅の耐震化促進を強く求め、耐震化率の目標値が明記されることとなりました。

政治の最優先課題は、国民・市民の生命を守ること。住宅の耐震化を重要課題に位置づけることができましたが、実際に耐震化を進めることが今後の課題です。

「住宅の耐震化」

「阪神大震災で亡くなった方の9割以上は自宅の倒壊が原因です。府中市でも一般住宅の耐震化が進んでないが、もっと積極的に支援するべきではないか。市民の命を守るため、死者の声に耳を傾け、住宅の耐震化の促進にこれまで以上に取り組んでほしい。」(2006年9月・本会議)

⇒来年度、促進計画を策定。その中で耐震化率の目標値を設定する。

「マンションの建替え支援」

「築40年を経過する老朽化マンションが今後市内でも増大していく。個人所有のマンションであっても、国は建替え支援の公益性を認めており、マンション建替え円滑化法によって、地元自治体がやるなら国も財政支援するしくみになっている。府中市はどう対応していく考えか。」(2006年3月・本会議)

⇒とりあえず、関係各課による相談体制の整備へ

新しい公約

必ず起こる大地震、市民の生命を守れ

- ・実践的な地域防災訓練を
- ・住宅の耐震化とマンションの建替え支援を

提言

古いマンションの建替え支援を
より実践的な地域防災訓練を
住宅耐震化支援の促進を



答弁または現状 (◎：実現した ○：検討する △：研究する[慎重に対応])

関係各課で協議の場を設定	△
地域防災計画の中に盛り込む	○
促進計画を策定し、目標値を設定	○